

DIAMOND Quarterly

[ダイヤモンド クォーターリー]

東証プライム市場に上場する企業の経営者・役員、約21,000名を
含む56,000名のエグゼクティブに直送するマネジメント誌



〈1号1社限定・特別対談企画〉

持続的な企業価値向上を実現する 人的資本経営の核心 (仮)



 **ダイヤモンド社**

■ 企画タイトル

持続的な企業価値向上を実現する
人的資本経営の核心 (仮題)

■ 企画主旨

第四次産業革命などによる産業構造の急激な変化、少子高齢化や人生100年時代の到来、個人のキャリア観の変化など、企業を取り巻く環境は大きな変化を迎えています。こうした中、企業が事業環境の変化に対応しながら、持続的に企業価値を高めていくためには、事業ポートフォリオの変化を見据えた人材ポートフォリオの構築やイノベーション、付加価値を生み出す人材の確保・育成、組織の構築など、経営戦略と連動した人材戦略をどう実践するかが重要視されています。

2018年に世界初の人的資本に関する情報開示ガイドラインとして、ISO（国際標準化機構）がISO30414を公開し、2020年には、SEC（米国証券取引委員会）が人的資本に関する情報開示をルール化しています。国内でも、2021年6月に施行された改訂版コーポレートガバナンスコードにおいて、人的資本に関する開示・提示と取締役会による実効的な監督を求められるようになりました。こうした背景から、投資家や消費者などのステークホルダーに企業評価に関する意識変容が起こりはじめ、いま、企業は人材戦略に関する経営陣・取締役の役割や投資家との対話のあり方、関係者の行動変容を促す方が求められているのです。

一方、投資家からの要望や開示義務化の背景から、適切な取り組みを行っている企業としての評価が目的と化し、人材戦略を表層的に進めているケースも散見されます。本来、人的資本経営とは人材を「資本」として捉え、その価値を最大限に引き出すことで、中長期的な企業価値向上につなげる経営のあり方であり、人材の能力や経験に投資しない企業は、顧客から見放され、優秀な人材は集まらず、投資家からの支持も得られなくなるというリスクがあるということに他なりません。企業経営者はうわべだけのキャッチフレーズではなく、本質的な人的資本経営とはどのようなものなのかを学び、実践していく必要があるでしょう。

そこで、本企画では有識者との対談や知見を持つプロフェッショナルからの寄稿などにより、持続的な企業価値の向上を実現するための人的資本経営の考え方や実行する際のポイント、ステークホルダーとの対話をどのように行っていくかなど、実践のための気づきやヒントを提供いたします。

掲載形式：有識者との対談、寄稿

対象企業：人材・組織戦略系コンサルティングファーム、人事・HR関連ソリューションベンダー
研修・ラーニングシステムソリューション、その他関連サービス提供企業など

■編集コラボレーション（4ページ～）

スポンサー企業様と編集部がコラボレーションして制作する4ページから実施可能な編集タイアップ。
その分野のプロフェッショナルとして、有識者との対談を通じて、スポンサー企業のもつ知見を読者に伝えます。

<掲載イメージ>

●編集コラボレーション4ページの場合

<https://www.diamond.co.jp/go/dquarterly/18/>



<掲載料金>

ページ数	料金
4ページ	4,000,000円
6ページ	5,500,000円
8ページ	7,000,000円

※対談者へのギャランティ費用込み。
ただし、人選により、別途ギャランティが発生する場合がございます。

●インタビューイプロフィール

●クレジット
(企画・制作 | ダイヤモンド クォーターリー編集部)

※記事の性質上、スポンサー様の直接的な宣伝要素は入れることはできません。

一橋大学ビジネススクール

客員教授 名和 高司氏



東京大学法学部卒、ハーバード・ビジネススクールにてMBA取得（ベーカースカラースクolar授与）。三菱商事を経て、2010年までマッキンゼーのディレクターとして約20年間コンサルティングに従事。日本、アジア、アメリカなどを舞台に、多様な業界において、次世代成長戦略、全社構造改革などのプロジェクトに幅広く携わる。ファーストリテイリング、味の素、SOMPOホールディングスなどの社外取締役、アクセンチュア、インターブランドなどのシニアアドバイザーを兼任。近著に『企業変革の教科書』（東洋経済新報社）『稻盛と永守』（日本経済新聞出版）がある。

慶応義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科

教授 前野 隆司氏

1984年東京工業大学工学部機械工学科卒業、1986年東京工業大学理工学研究科機械工学専攻修士課程修了、同年キヤノン株式会社入社、1993年博士（工学）学位取得（東京工業大学）、1995年慶應義塾大学理工学部専任講師、同助教授、同教授を経て2008年よりSDM研究科教授。2011年4月から2019年9月までSDM研究科委員長。この間、1990年-1992年カリフォルニア大学バークレー校Visiting Industrial Fellow、2001年ハーバード大学Visiting Professor。

※対談いただく有識者は、ご相談の上決定させていただきます。

※記事の性質上、スポンサー様の直接的な宣伝要素は入れることはできません。

■DQオンラインへの転載

雑誌に掲載したコンテンツ（タイアップ記事）を
オンライン転載し、リーチを拡大します。

《展開イメージ》

●DQオンライントップ



<https://diamond.jp/list/quarterly>

●タイアップページ



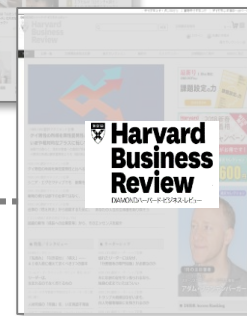
<転載料金>

ページ数	料金	保証PV
2ページ	700,000円	2,500PV
4ページ	1,400,000円	6,000PV
6ページ	2,100,000円	10,000PV

※雑誌料金への追加料金です。
 ※8ページ以上の場合はお問合わせ下さい。
 ※誘導方法は弊社に一任となります。
 ※オンラインのみでの展開も可能です。仕様/料金等は
 ご相談ください。
 ※料金はすべて税別です。



●DOL、DHBRオンライン



※掲載内容は誌面と同様です。
 ※誘導はDQオンライントップ
 およびダイヤモンド・オンライン、
 DHBRオンラインなどから行います。
 ※ご要望により、オンライン単独での
 掲載も承ります。
 ※二次利用（広告主サイトからのリンク）
 についてはお問い合わせ下さい。

■純広告料金

表紙周りの**特別なスペース**。中面も掲載可能です。

<掲載料金>

ページ数	料金	サイズ (天地×左右)
①表2	1,000,000円	280×210mm※
②表3	900,000円	280×210mm
③表4	1,300,000円	260×190mm
見開2ページ	1,800,000円	280×420mm
1ページ	900,000円	280×210mm

※原稿はスポンサー企業様にてご用意ください。

※表2は見開きも可能ですので、ご希望の場合はお問い合わせ下さい。

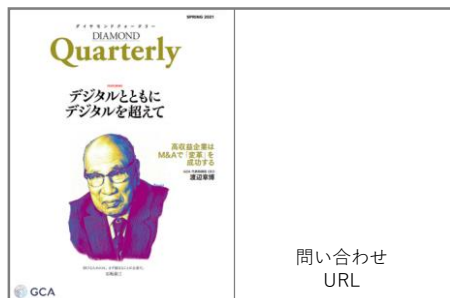
※料金は税別です。

表紙



③表4

■抜き刷り



表紙

問い合わせ
URL

裏表紙

部数	4ページ		6ページ		8ページ		10ページ	
	基本料金	上積単価	基本料金	上積単価	基本料金	上積単価	基本料金	上積単価
1,000部	350,000円	0	368,000円	0	384,000円	0	416,000円	0
1,000部以上	350,000円	15	368,000円	23	384,000円	26	416,000円	36
5,000部	410,000円	14	460,000円	21	488,000円	23	560,000円	32
10,000部	480,000円	12	565,000円	20	603,000円	22	720,000円	30

- 表紙は弊社が定める抜き刷り専用のデザイン・フォーマットとなります。
- 裏表紙には、ロゴ、住所、URLなどの簡単な企業情報を入れていただくか、純広告を入れることが可能です。

※上記以外の部数、ページ数の料金はお問い合わせください。

■同梱サービス



- 1号あたり**4社限定**で、経営者**21,000名**へ本誌を送付する際に、企業様からご提供いただくパンフレット、広報誌、セミナーチラシなどを同梱するサービス。

※その他、ダイヤモンド社からのお知らせが入る場合がございます。

- 利用料金：**1,500,000円**
- 利用条件：**本誌に100万円以上のご出稿主様限定**
- 同梱規定：4社限定、重量50g以内、厚さ5mm以内
- 印刷物は広告主様にてご用意ください。

■誌面PDF



- 利用料金：1ページあたり **100,000円**
 - 利用期間：ご利用開始日から1年間
 - 使用範囲：自社ホームページ、イントラネットでの掲載に限ります。
- ※他社メディアでの掲載はご遠慮ください。

料金はすべて税別です。

DIAMOND
Quarterly

[ダイヤモンド クォーターリー]

ダイヤモンド クォーターリー (DQ)
媒体概要

■媒体概要

ダイヤモンド社が保有する法人データベース250,000件の中から、東証プライム市場に上場する企業+売上高400億円以上の非上場企業のCクラスを含む経営者および取締役・執行役員約21,000人を抽出し、個人名宛で直送する唯一無二のマネジメント誌です。

ダイヤモンドクォーターリーは、2013年にダイヤモンド社100周年記念事業として生まれ、3年後の2016年10月に現在の誌名、発行形態で創刊いたしました。

以降、日本を代表する経営者、アカデミズムなどのへのインタビューをはじめ、コンサルティングファームやITスペシャリストへの取材記事など、本質的で実践的なコンテンツを多数掲載しており、読者である経営マネジメント層から高い支持をいただいています。

また、近年は誌面とともにデジタル版の配信、オンラインでの展開、イベント開催などにも力を入れており、今後さらに読者とのリレーションや接点を強化していく予定です。

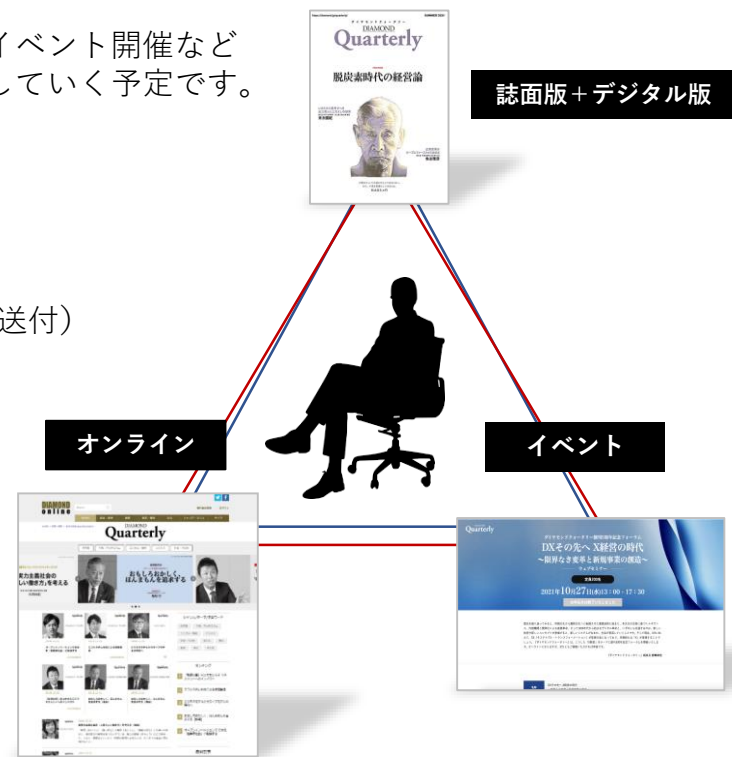
■媒体概要（詳細）

発行日：3月、7月、10月、12月発行（年4回・季刊）

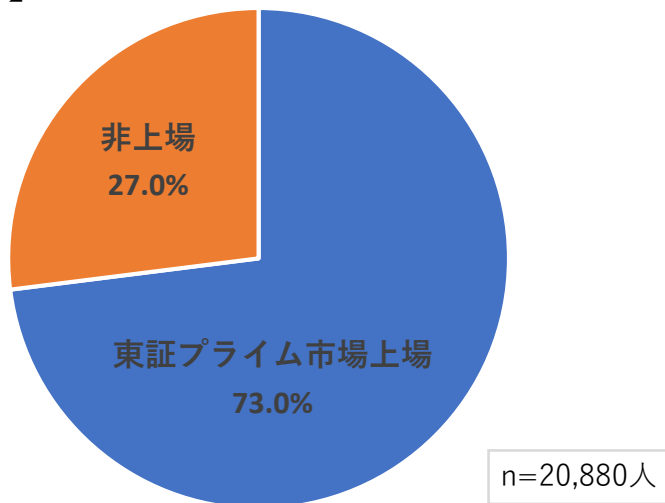
発行形態：コントロールドサーキュレーション（選ばれた読者のみに送付）

販売価格：無料 ※電子版は880円（税込）で販売

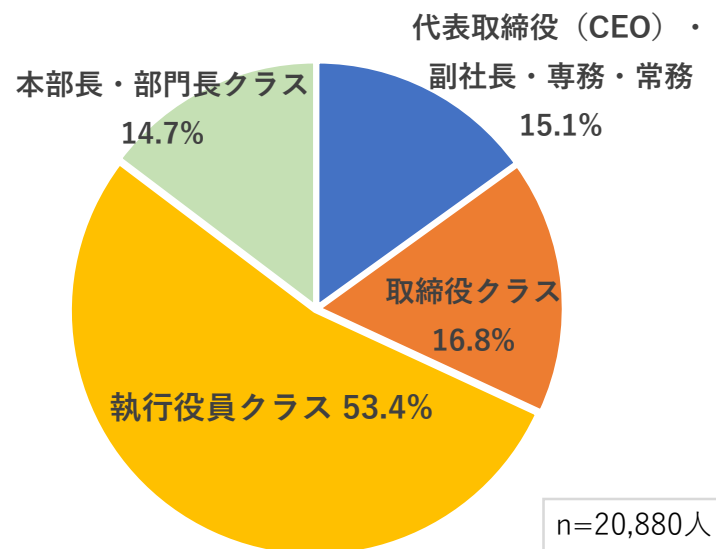
発行部数：約56,000部（雑誌21,000部+デジタル版35,000部）



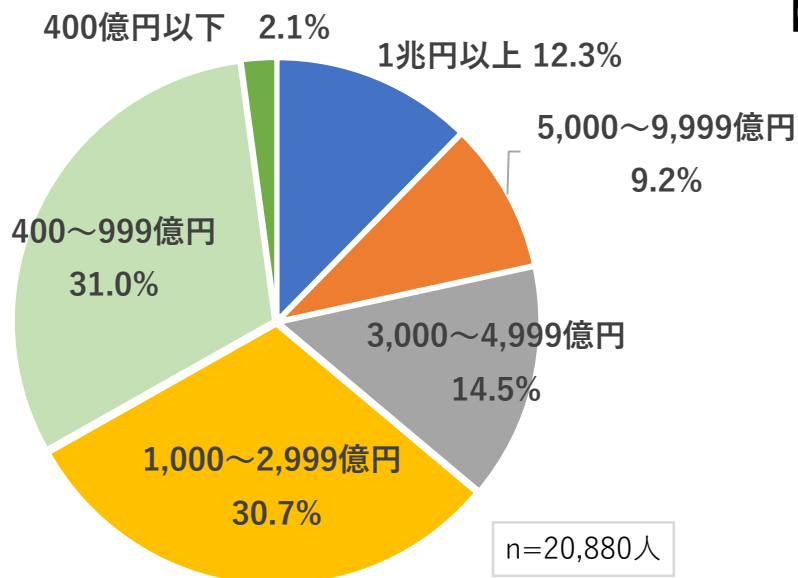
【上場区分】



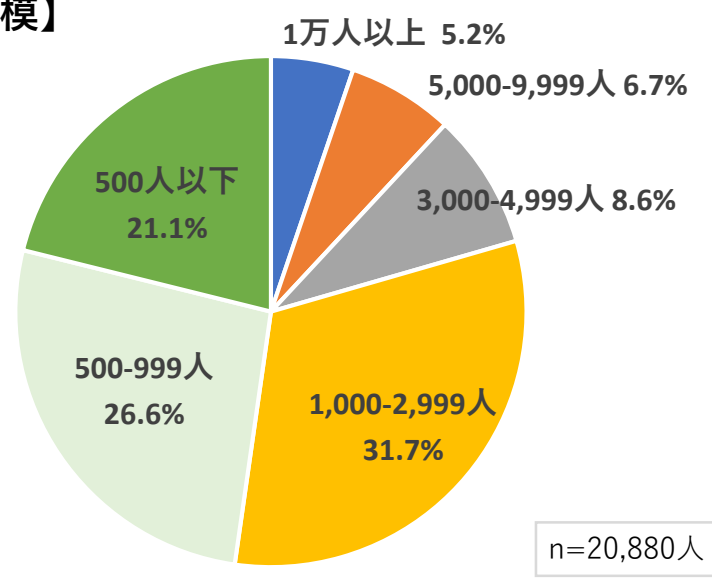
【役職】



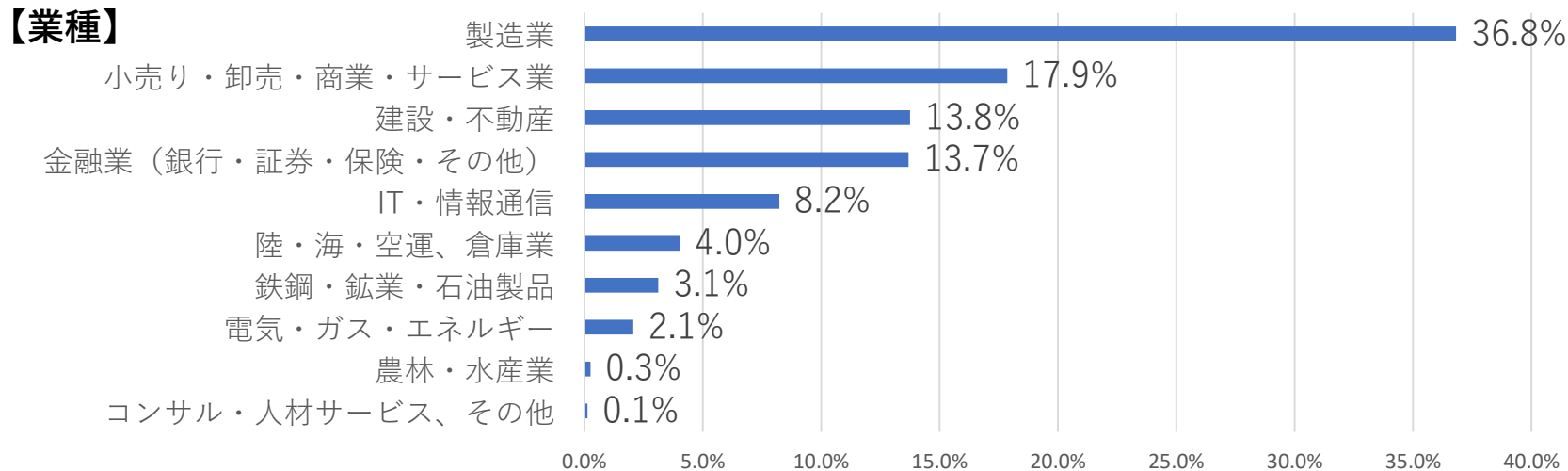
【売上】



【従業員規模】



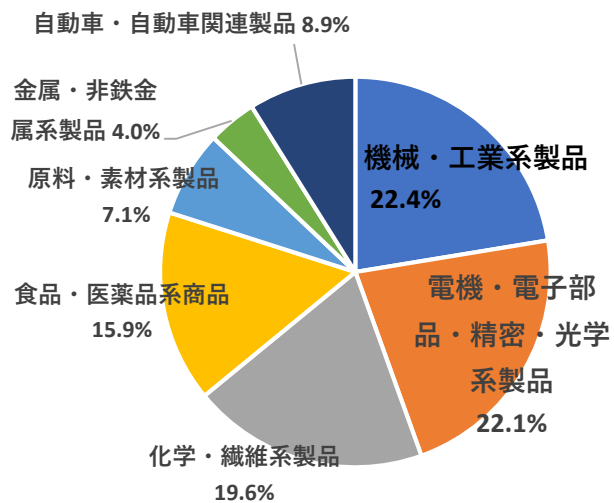
本誌読者属性② 業種



n=20,880人

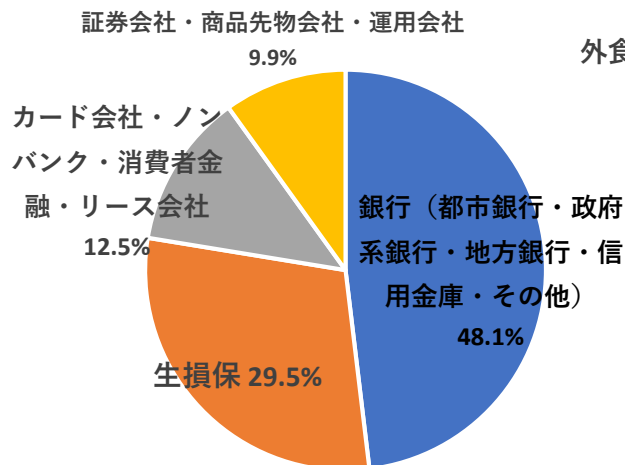
【業種内訳】

製造業内訳



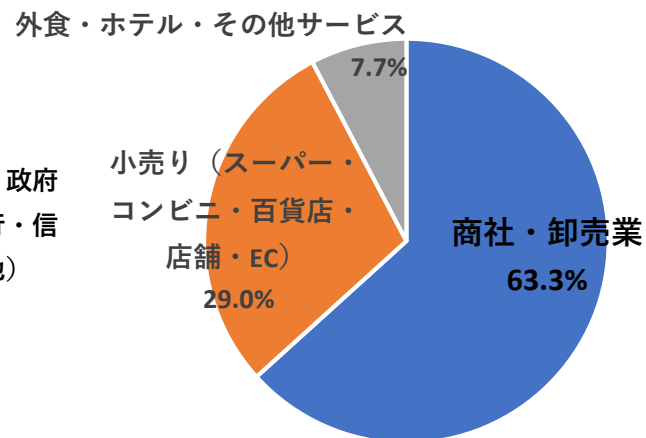
n=7,689人

金融業内訳



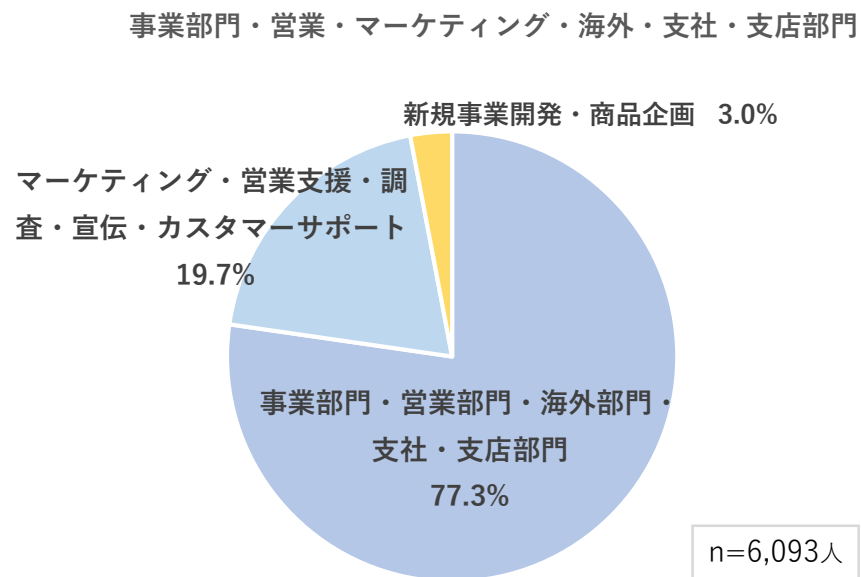
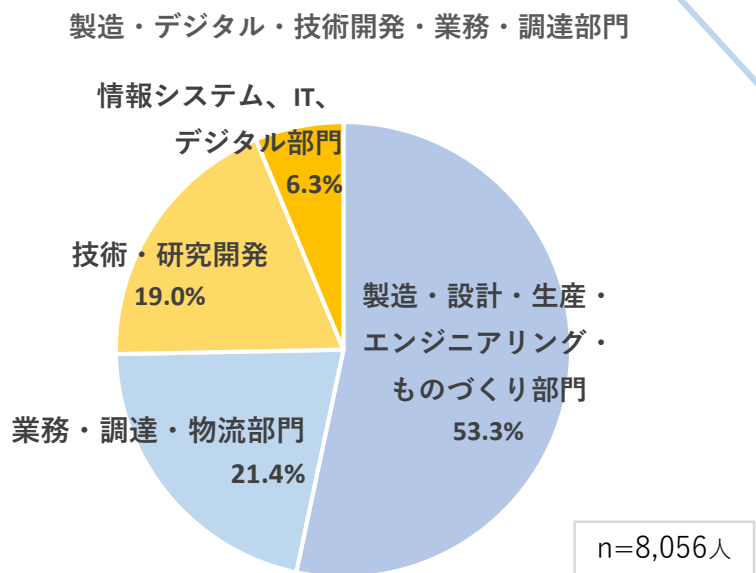
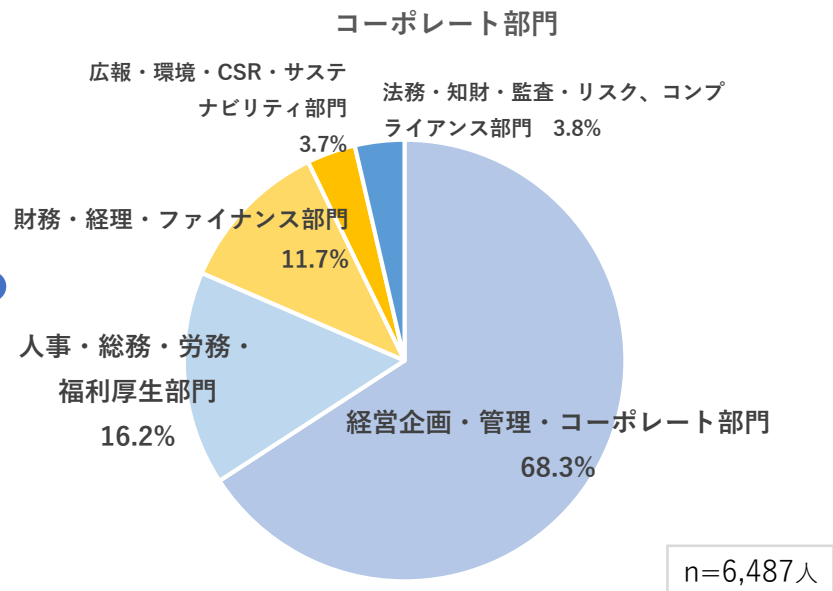
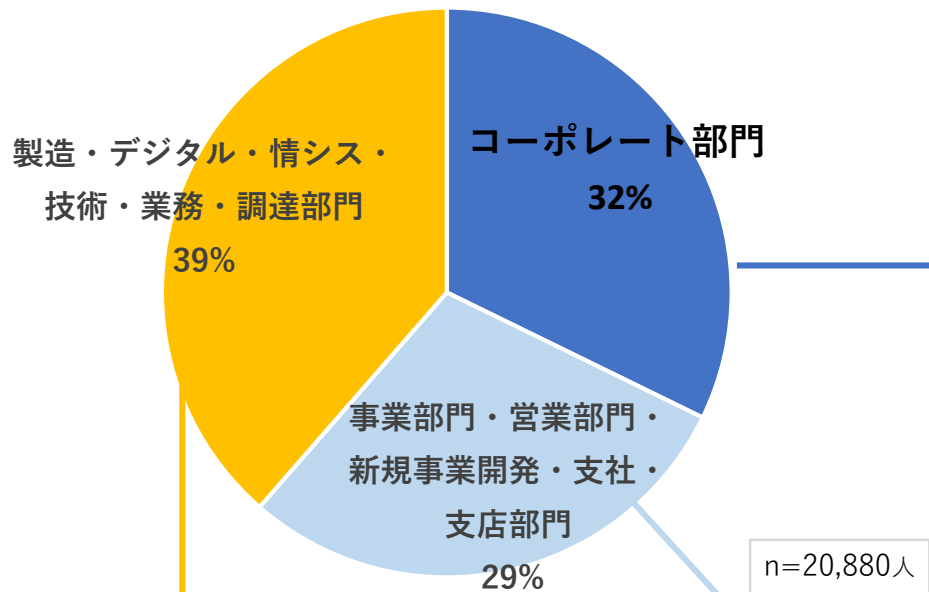
n=2,859人

小売り・流通業内訳



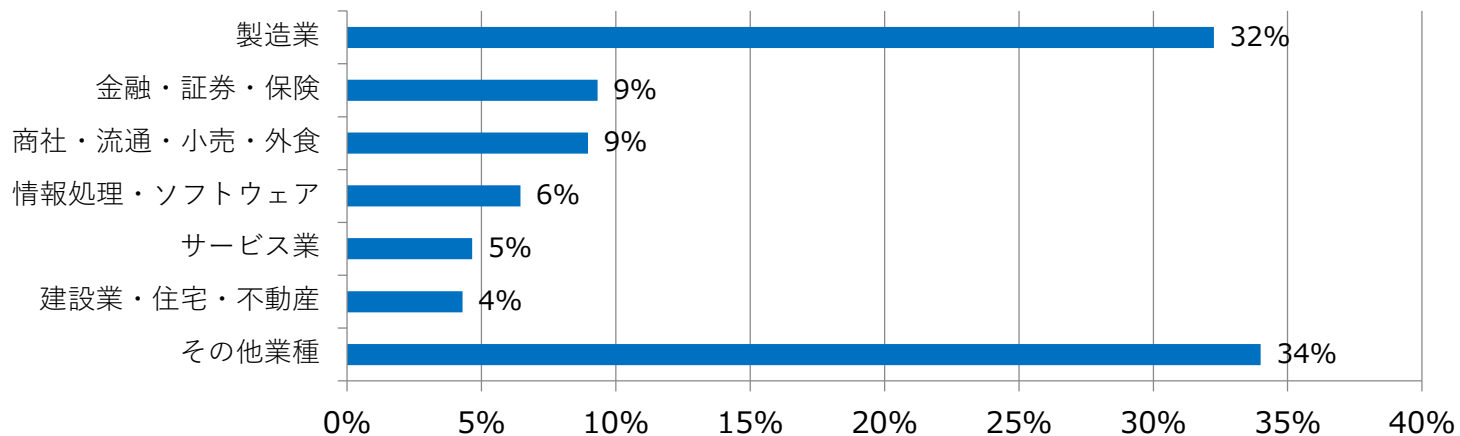
n=3,728人

本誌読者属性③ 部門



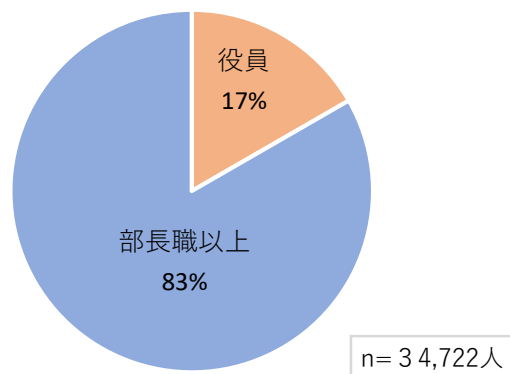
ダイヤモンド・オンライン、DHBR onlineに登録する企業規模1,000名以上、経営者・役員、部長格35,000通に配信。

【業種】



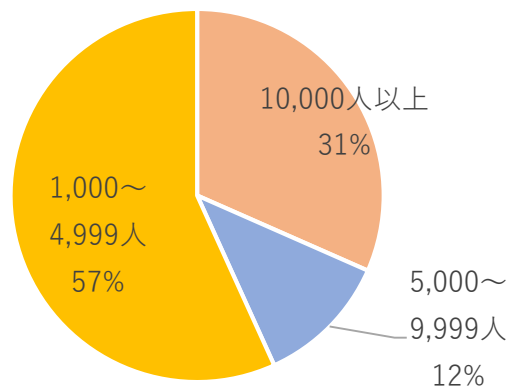
n= 34,722人

【役職】



n= 34,722人

【従業員規模】



n= 34,722人

※2022年夏号のダイレクトメール
配布先となります。
※配信タイミングにより。
通数は変動する場合があります。

■ 経営者

これまでにご登場いただいた経営者 ※前身の媒体を含みます。役職は取材当時。敬称略

- 有馬浩二 (デンソー 代表取締役社長)
- 安藤宏基 (日清食品ホールディングス CEO)
- 魚谷雅彦 (資生堂 代表取締役社長 兼 CEO)
- 牛尾治朗 (ウシオ電機 代表取締役会長)
- 小野田聡 (JERA 代表取締役社長)
- 垣内威彦 (三菱商事 代表取締役社長)
- 金川千尋 (信越化学工業 代表取締役会長)
- 柄澤康喜 (MS&ADインシュアランスグループHD 取締役会長 会長執行役員)
- 北尾裕一 (クボタ 代表取締役社長)
- 久夛良木 健 (ソニー・コンピュータエンタテインメント 元会長)
- 古森重隆 (富士フイルムホールディングス 代表取締役会長 CEO) 作田久男 (NTKセラミック 代表取締役会長)
- 柵山正樹 (三菱電機 代表執行役 執行役社長)
- 佐藤慎次郎 (テルモ 代表取締役社長CEO)
- 澤田純 (NTT 代表取締役社長)
- 澤田道隆 (花王 代表取締役社長執行役員)
- 鈴木純 (帝人 代表取締役社長執行役員CEO)
- 島野容三 (シマノ 代表取締役社長)
- 谷本秀夫 (京セラ 代表取締役社長)
- 玉川 憲 (ソラコム 代表取締役社長)
- 津賀一宏 (パナソニック 代表取締役社長)
- 土屋裕雅 (ベイシアグループ 代表取締役会長)
- 津谷正明 (ブリヂストン 取締役 代表執行役CEO兼取締役会長)
- 中田卓也 (ヤマハ 代表執行役社長)
- 中山泰男 (セコム 代表取締役社長)
- 新浪剛史 (サントリーホールディングス 代表取締役社長)
- 西井孝明 (味の素 代表取締役 取締役社長 CEO)
- 東 和浩 (りそなホールディングス 取締役兼代表執行役社長)
- 東原敏昭 (日立製作所 取締役 代表執行役 執行役社長兼CEO)
- 藤野道格 (ホンダ エアクラフト カンパニー CEO)
- 堀場 厚 (堀場製作所 代表取締役会長兼グループCEO)

オムロン
代表取締役社長
山田 義仁 氏



堀場製作所
代表取締役会長 兼
CEO 堀場 厚 氏



サントリー
代表取締役社長
新浪 剛史 氏



- 松本正義 (住友電気工業 取締役会長)
- 峰岸真澄 (リクルートホールディングス 代表取締役社長兼CEO)
- 三村明夫 (新日鐵住金 相談役名誉会長 | 日本商工会議所 会頭)
- 宮永俊一 (三菱重工業 取締役社長 CEO)
- 村田恒夫 (村田製作所 代表取締役社長兼会長)
- 山田匡通 (イトーキ 代表取締役会長)
- 山田義仁 (オムロン 代表取締役社長)
- 吉永泰之 (SUBARU 代表取締役社長)

■アカデミア

これまでにご登場いただいたアカデミア

※前身の媒体を含みます。役職は取材当時・敬称略

- 伊丹敬之（国際大学 学長 | 一橋大学 名誉教授）
- 伊藤友則（一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 教授）
- 岩井克人（国際基督教大学 特別招聘教授）
- 宇佐美英機（滋賀大学 名誉教授）
- 宇田川 勝（法政大学 名誉教授）
- 江川雅子（一橋大学大学院 経営管理研究科 特任教授）
- 老川慶喜（跡見学園女子大学 マネジメント学部 教授 | 立教大学 名誉教授）
- 大湾秀雄（早稲田大学 政治経済学術院 教授）
- 加護野忠男（甲南大学 特任教授 | 神戸大学 名誉教授）
- 鹿島 茂（フランス文学者）
- 兼田麗子（桜美林大学 ビジネスマネジメント学群 教授）
- 蒲島郁夫（熊本県知事 | 東京大学 名誉教授）
- 川上浩司（京都大学 情報学研究科 特定教授）
- 川本裕子（早稲田大学 ビジネススクール 教授）
- 橘川武郎（東京理科大学 イノベーション研究科 研究科長）
- 榊原清則（慶應義塾大学 名誉教授）
- 柴崎隆一（東京大学大学院 工学系研究科 レジリエンス工学研究センター 准教授）
- 末永國紀（同志社大学 名誉教授 | 近江商人郷土館 館長）
- 高倉弘喜（国立情報学研究所 教授）
- 高野陽太郎（東京大学 名誉教授）
- 名和高司（一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 客員教授）
- 沼上 幹（一橋大学 副学長）
- 野中郁次郎（一橋大学 名誉教授）
- 延岡健太郎（一橋大学 イノベーション研究センター センター長/教授）
- 平野雅章（早稲田大学 ビジネススクール 教授）
- 藤田正勝（京都大学 名誉教授）
- 藤本隆宏（東京大学大学院 経済学研究科 教授）
- 本田由紀（東京大学大学院 教育学研究科 教授）
- 松田裕之（神戸学院大学 経営学部 教授）
- 三品和広（神戸大学 経営学研究科 教授）
- 森川博之（東京大学大学院 工学系研究科 教授）
- 森本博行（首都大学東京 名誉教授）

一橋大学 名誉教授
野中郁次郎



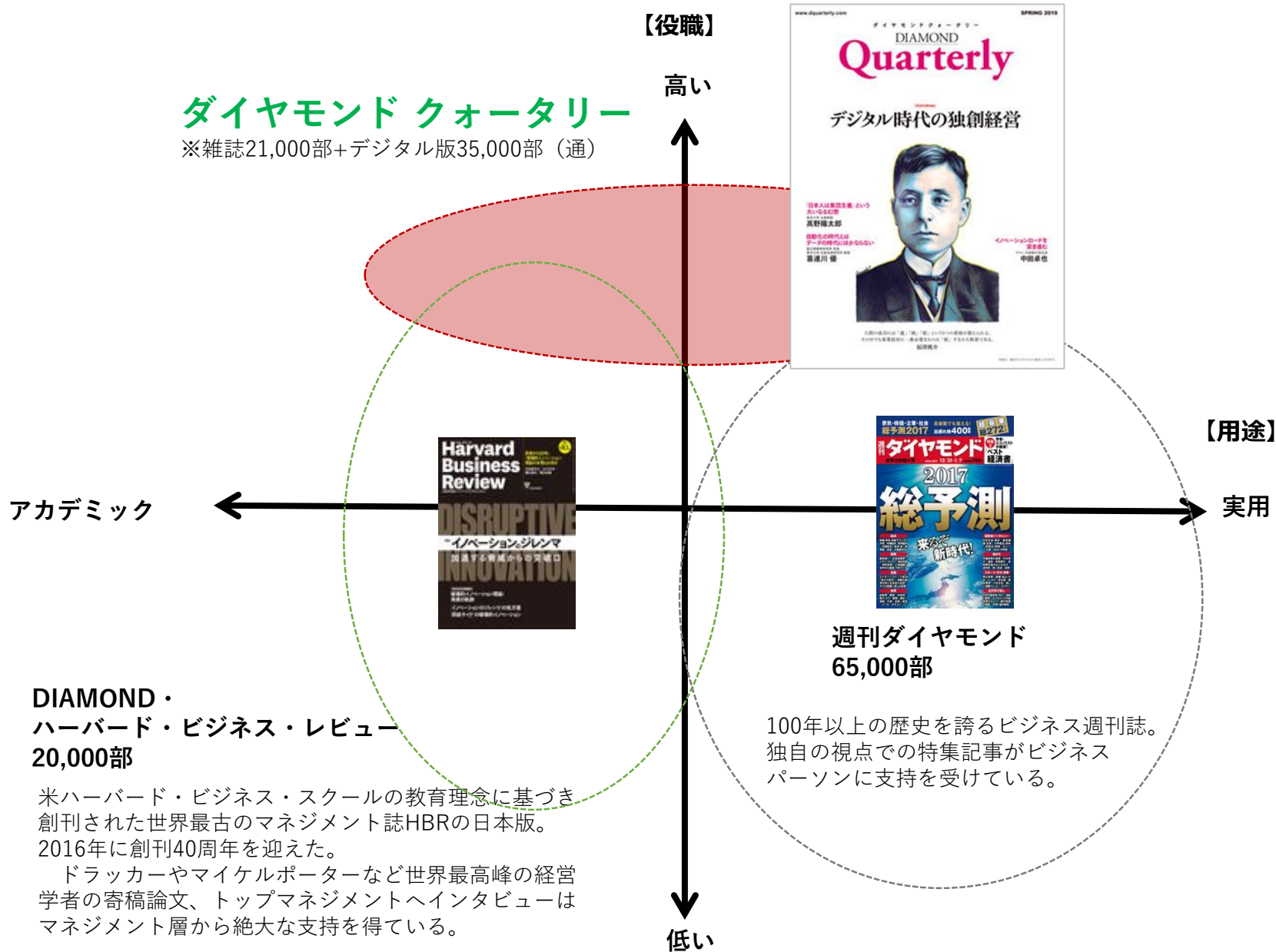
神戸大学 名誉教授
加護野忠男



東京大学 大学院
経済学研究科教授
藤本隆宏



- 湊長博（京都大学 総長）
- 宮本又郎（大阪大学 名誉教授）
- 安田隆二（一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 特任教授）
- 山田英夫（早稲田大学 ビジネススクール 教授）
- 横山禎徳（東京大学 EMP ディレクター）
- 米倉誠一郎（法政大学 イノベーション・マネジメント研究科 教授）
- 和田一夫（東京大学 名誉教授）



DIAMOND・
ハーバード・ビジネス・レビュー
20,000部

米ハーバード・ビジネス・スクールの教育理念に基づき創刊された世界最古のマネジメント誌HBRの日本版。2016年に創刊40周年を迎えた。

ドラッカーやマイケルポーターなど世界最高峰の経営学者の寄稿論文、トップマネジメントへインタビューはマネジメント層から絶大な支持を得ている。

ダイヤモンド クォーターリー 常設企画

■発行日

本誌（約21,000名への送付）	3月、7月、10月、12月
オンライン転載（有料オプション）	本誌発行月の翌月下旬（仮）
デジタル版（ターゲティングメール）の配信	本誌発行月の翌月下旬（予定）

■締め切り

編集コラボ・広告タイアップ申込	発刊の 3 カ月前
取材期日	発刊の 2 カ月前※対談・複数社の取材の場合は応相談
同梱	申込〆切：発刊の 1 カ月前 納品〆切：発刊の 2 週間前 【納品先】〒816-0921 福岡県大野城市仲畑2-11-7 (株)JCC第四物流センター 綿名様宛 TEL/092-588-5061
純広告（表2、表4、表3）	申込〆切：発刊の 2 カ月前 入稿〆切：発刊の 1 カ月前 ※決定優先となるため空き枠はお問い合わせください。

■お問い合わせ

株式会社ダイヤモンド社 ビジネスメディア局
ソリューション営業部 担当：鈴木博之／鶴巻／川地／寺田

info-dq@diamond.co.jp

〒150-8409 東京都渋谷区神宮前6-12-17

広告：TEL 03-5778-7220 編集：TEL 03-5778-7731

※スケジュールは変更になる場合がございます。